

バンダイが香港菓子販売代理店最大手 四洲貿易有限公司と業務提携契約締結

～香港地域でのキャラクター玩具菓子事業拡大を目指す～

株式会社バンダイ

本社：東京都台東区 社長：高須武男

資本金：243億円

バンダイグループのアジア地域の生産・販売拠点である萬代（香港）有限公司 / BANDAI (H.K.) CO.,LTD.〔本社：香港 QueensWay 社長：平野雄二〕は、香港・食品製造販売大手の四洲集团有限公司グループ傘下の菓子販売代理店 四洲貿易有限公司 / Four Seas Mercantile Limited.〔本社：香港 SaiKung 社長：Tai Tak Fung Stephen〕と、バンダイの玩具菓子販売についての業務提携契約を締結しました。

具体的には2004年7月より四洲貿易有限公司（以下：四洲貿易）が、香港地域で同社の持つ販売ルートである食品スーパーやGMS、直営菓子ショップでバンダイのキャラクター玩具菓子の販売を行います。この業務提携によりバンダイの玩具菓子の販売ルートは5倍（約300店舗 約1600店舗）に拡大する予定です。

業務提携の目的

今業務提携により、バンダイは香港地域での菓子流通への販売ルートを拡大し菓子市場に本格的に参入します。また四洲貿易は現地で人気の高いポケモンや戦隊シリーズ、仮面ライダーなどの日本のキャラクター商品を扱うことにより市場でのシェア拡大を目指します。

両社は単に販売面での提携だけでなく、7月の導入期には四洲貿易の直営菓子ショップ（OKASHI LAND）60店舗でバンダイのガンダムの玩具菓子と連動した共同プロモーションを行うなど、マーケティング面でも協力を行っていきます。また将来的にはバンダイのキャラクター玩具と四洲集団の製造部門の菓子を組み合わせた玩具菓子の共同開発や生産面での連携も視野に入れていきます。

バンダイでは香港地域における玩具菓子事業での売上を、現在の約5千万円（2003年実績）から、3年後（2007年）には10億円にまで伸ばす予定です。

バンダイグループの中期経営計画(2003年4月~2006年3月)

バンダイグループ中期経営計画では利益・効率重視に軸足を置いたキャラクターマーチャンダイジングの「事業のエクспанション」をテーマとしています。また「事業のエクспанション」のための重点・経営戦略の1つに「M&A・アライアンス展開の推進」を、重点・事業戦略の1つに「グローバル展開の強化」を掲げています。玩具菓子事業のエクспанションの施策として、バンダイでは2003年に菓子メーカーの(株)東ハトに出資、コラボレーション商品の開発により日本における事業領域の拡大に取り組んでいます。今回の四洲貿易との業務提携は、玩具菓子事業のグローバル展開強化のためのアライアンス展開となります。今後も欧米など他の地域での現地のパートナー企業との連携による玩具菓子事業の推進を行っていく計画です。

四洲集团有限公司 / Four Seas Holding Limited (連結)

本社：香港 Sai Kung

社長：Tai Tak Fung Stephen

資本金：5億32百万香港ドル(日本円換算：74億48百万円)

売上高：18億4千万香港ドル(日本円換算：257億76百万円 / 2003年実績)

会社概要： 中国・香港に菓子・食品の販売のみならず、製造部門も抱える
総合食品企業。

現地での販売部門単体の現地市場シェアは全菓子市場35%と
業界1位を誇る。

バンダイホームページURL：<http://www.bandai.co.jp>